

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	49
--------	----

担当課	教育委員会	担当課長	森 裕子			
事業担当者	山本 恵理子	一次評価者	江上 智恵			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	特別支援教育の推進					
予算科目	10 款 1 項 3 目					
予算事業名	教育振興一般経費					
総合計画での位置づけ (施策名)	互いに認め合うまちをつくる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	久山町立幼稚園、小学校、中学校					
事業の目的	支援を必要とする子が増える中、支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、教育内容や方法について、専門家の助言を基に体制を整える。					
実施期間	開始年度	平成 26 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	幼稚園:パート補助員を7名配置。 小学校:両小学校に特別支援加配補助員を必要に応じて配置(久原1名、山田2名) 中学校:通級指導教室担当教員を1名配置。 全体として、臨床心理士による巡回相談を行い、支援が必要な子どもについての洗い出し、個別相談等を行った。					
目的達成の指標 (成果指標)	特別支援教育相談員の相談件数					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	件	300	300	350	350
	実績	件	350	370		
指標設定の考え方	個別対応を必要とする子どもの掘り起こしが進めば、相談件数は増えてくる。					
計画時の懸案事項	支援を必要とする児童生徒の保護者の理解が得られない案件がある。					
計画時の懸案事項への対応	教育支援委員会で検討した児童生徒の中で、新規および措置変更者に対しては、臨床心理士同席の上、保護者面談で丁寧に説明を行い合意形成を図る。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,712 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.2	0.2	0.2	0.2
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,578	1,530	1,435	1,435
事業費	直接事業費	12,775	23,424	19,049	19,049
	人件費	1,578	1,530	1,435	1,435
	合計	14,353	24,954	20,484	20,484
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,239			
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,114	24,954	20,484	20,484
	合計	14,353	24,954	20,484	20,484

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	12,775	23,424	19,049	19,049	19,049
実績	12,600	12,962			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
特別支援教育相談員対応件数	件	300	300	350	350
		350	370		
教育支援委員会検討人数	人	65	65	90	90
		107	111		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,575 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.2	0.2	0.2	0.2
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0		0
	人件費(①×②-③)	1,578	1,530	1,530	1,435
事業費	直接事業費	12,600	23,424	12,962	19,049
	人件費	1,578	1,530	1,530	1,435
	合計	14,178	24,954	14,492	20,484
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	216	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,962	24,954	14,492	20,484
	合計	14,178	24,954	14,492	20,484

実施備忘録

--

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	山本 恵理子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

支援が必要な児童生徒は年々増加しており、学校現場の教諭の負担も増大している。スムーズな学級運営や教諭の負担軽減のためには、支援員の存在は欠かせないものとなっている。また、相談員の専門的知識を活用し、支援員の適切な配置を行い、継続的に支援体制をとっていく必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

支援が必要な子どもおよびその保護者への対応をどう進めていくかが課題。また、特別支援学級対象児童・生徒の増加により、今後教室数が不足することが考えられる。通級指導教室対象児は教諭ひとりで受け持つ人数を超えてしまう。計画的に退級も視野に入れつつ、対象児の見極めをすることも必要である。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

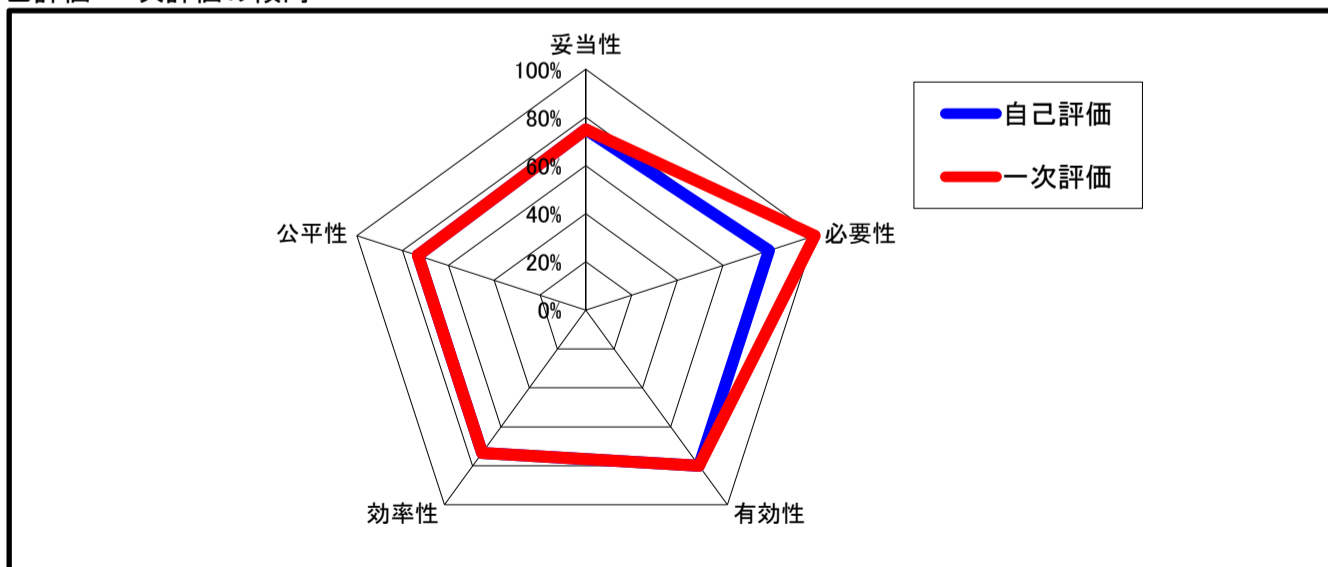
一次評価	評価者	江上 智恵	5段階評価で評点を付けます。 5 大 ←→ 小 1 ↓	
1. そもそも必要な事業か？			評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。			4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。			4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。			4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。			3	
2. 町が実施する必要があるか？				
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			4	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。			4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。			4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。			4	
3. 実施内容は適切か？				
①有効性				
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。			4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。			4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。			4	
②効率性				
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。			4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。			3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。			4	
③公平性・透明性				
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)			4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。			4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。			3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

支援を要する児童・生徒は年々増しており、学校もその対応に追われている。そのなかで本町は町の単費で、学習支援員を配置し、適切な指導を行っている。また、相談員やスクールカウンセラーも配置して、児童・生徒だけではなく、保護者や家庭環境も含めて指導を行っている。近年では深刻な家庭環境を伴う事案もあることから、福祉課との協力体制をとっている。今後はさらに増加することも考えられることから、適切に人員を配置していくことが必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

森 裕子

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

これまで十分な支援が行われている。今後、支援を要する児童・生徒が増加することが考えられるため、適切に人員を配置していく必要がある。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出するこ
と。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性		A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		
<input type="checkbox"/>	C見直し		
<input type="checkbox"/>	D廃止		
<input type="checkbox"/>	E完了		

評価	外部評価委員の意見	

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性		A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		
<input type="checkbox"/>	C見直し		
<input type="checkbox"/>	D廃止		
<input type="checkbox"/>	E完了		

評価	経営者会議の結果	

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	